



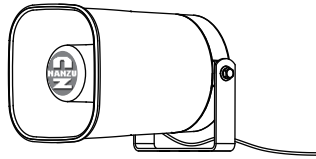
# 取扱説明書

NZ-S113

このたびは、NANZU製ホーンスピーカをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。  
お読みになったあとは、大切に保管してください。

## 小型耐熱ホーンスピーカ

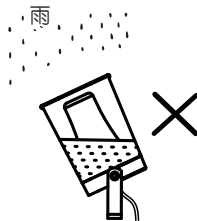
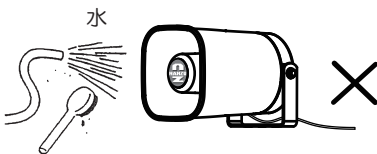
**注意** 裏面の「安全上のご注意」をお読みになってから本文をお読みください。



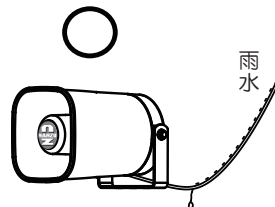
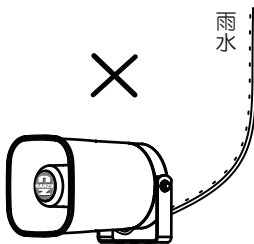
### ■取付上および使用上のご注意

1. ホーンスピーカの防水性を損なわないために下記にご注意下さい。

- ①ホーンスピーカを洗浄などのためにホーン開口部にホースなどで直接水を注入するようなことはお避け下さい。ドライバー部（内部）に浸水し、故障の原因となる場合があります。
- ②スピーカの開口部を上に向けて取りつけないようにしてください。雨水などがたまり、音が出なくなったり、内部に浸水して故障の原因となります。



- ③スピーカコードは途中でたるませるようにすると、コードを伝わって雨水が浸入するのを防止することが出来ます。














2. マイクロホンや送話口の近くにスピーカがあると、ハウリング（スピーカからキーンという音が出る）を起こすことがあります。このときはスピーカの向きを変えるか、アンプの音量（ボリューム）を下げてハウリングしないようにして下さい。

## ■安全上のご注意

この安全上のご注意および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

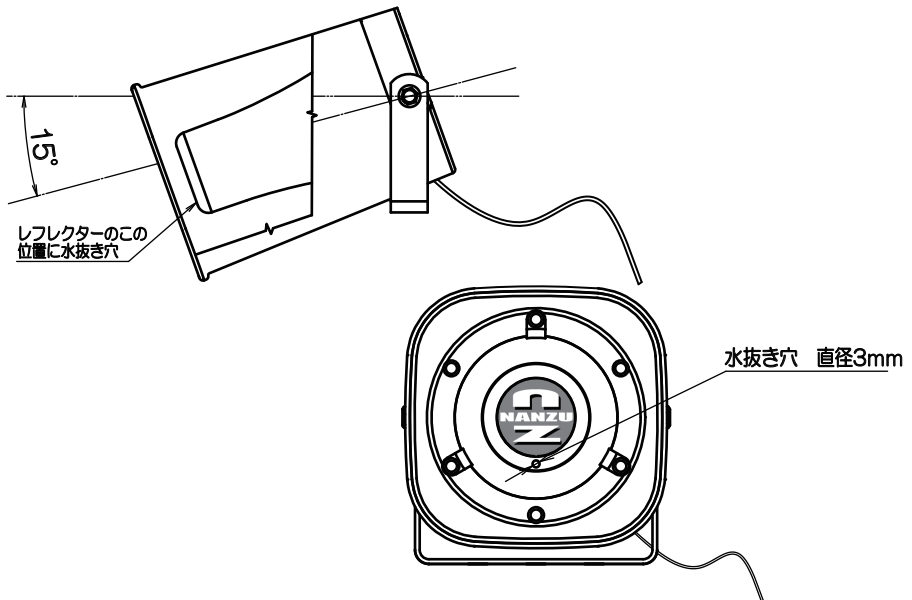
 警告	<p>この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>		<p>この記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。</p>
 注意	<p>この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>		<p>この記号は禁止の行為であることを告げるものです。</p>
			<p>この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 ●の中や近くに具体的な強制・指示内容が描かれています。</p>

 <b>警告</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>この機器はアンプの出力を音声に変えるためのスピーカです。コードの色は赤黒ですが、直接直流（DC）電源や商用（AC）電源を接続しないでください。火災・感電の原因となります。</li> </ul>	 禁止
<ul style="list-style-type: none"> <li>この機器はローインピーダンス（トランスなし）のスピーカです。アンプのハイインピーダンス（トランス）出力端子には接続しないで下さい。火災・感電の原因となります。</li> </ul>	 禁止

 <b>注意</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。スピーカが発熱し、火災の原因となることがあります。</li> </ul>	 禁止
<ul style="list-style-type: none"> <li>万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となることがあります。すぐにアンプの電源を切ってください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。</li> </ul>	  注意 強制
<ul style="list-style-type: none"> <li>本機に他の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。接続を間違えますと故障の原因となることがあります。</li> </ul>	 注意
<ul style="list-style-type: none"> <li>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に取り付けしないでください。落ちたり、倒れたりして怪我の原因となることがあります。</li> <li>この機器はボルトなどで確実に固定してください。落ちたり、倒れたりして怪我の原因となることがあります。</li> </ul>	 禁止
<ul style="list-style-type: none"> <li>電源を入れる前にはアンプの音量（ボリューム）を最小にしてください。また、スピーカに耳を近づけないで下さい。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</li> </ul>	 注意
<ul style="list-style-type: none"> <li>水抜き用としてレフレクターに穴を開けること以外にこの機器を改造しないでください。故障の原因となることがあります。</li> </ul>	 分解禁止

## ■取り付けに際しての注意

- 荷台に取り付ける事を主とし、狭いところにも取り付けできます。例えばフェンダーの下、タイヤハウスの中、ラジエータの近傍、バンパーの下などに取り付けできます。
- 取り付けは専門の業者に依頼し、周りの振動する部品や高温になる部に接触しない様に、また振動などで落下や離脱のないように確実に取り付けしてください。落下の危険性がある場合は、チェーンなどで落下防止対策を実施してください。
- スピーカ取り付け方向は必ず水平かやや下向きになる様にしてください。スピーカが上を向くとスピーカに水が溜まり故障の原因となります。
- 取り付け後、スピーカ前面を塞ぐ事のない様に取り付けてください。少なくともスピーカ前面より50mm以上離れるように取り付けてください。ボンネット内などに納める場合は前方下向（道路に向けて）に音が出るように取り付けると良く音が出ることがあります。
- スピーカ取り付け方向が15度以上、下向きになる場合はレフレクターの先端の下位点に3mm程度の水抜き用の穴を開けてください。穴がないと内部に水が溜まり音が出なくなったり、故障の原因となります。（下図を参考にしてください）
- 周囲温度が100度を超える所や、部品に接触しないように取り付けてください。故障の原因になったり、変形して故障の原因となります。



## ■接 続 方 法

- スピーカコードはアンプのローインピーダンス出力端子（4～16Ω）に接続してください。
- スピーカの合成インピーダンス（Ω）がアンプの負荷インピーダンス（Ω）に等しいか、それ以上になるように選び、下図のように極性を合わせて接続してください。
- スピーカコードの配線の長さは下図のように設定してください。  
長くなりすぎると電力の損失が大きくなり、スピーカを能率よく動かすことができません。
- コードの色は赤黒ですが、直接電源に接続しないでください。

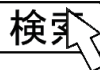
銅線の太さ0.75mm<sup>2</sup>の場合

アンプの負荷インピーダンス	接 続 例	配線の長さ
4Ω		8Ω時：16mまで
		8mまで
8Ω		8Ω時：16mまで



販売元 有限会社 南豆無線電機（なんず）  
 〒415-0035 静岡県下田市東本郷2-1-5  
 TEL：0558-22-2421 FAX：0558-23-4838  
 営業時間：平日9:00～17:30 定休日：土日祝祭日

なんず



[www.nanzu.jp](http://www.nanzu.jp)